

ライフケアガーデン湘南 5階

症 例 概 要 利用者氏名：80代 女性 要介護5

利用期間：2020年3月～2024年6月現在

主疾患：左肘複雑骨折、高血圧症

経過：2019年頃からご自宅での転倒が増えました。2019年12月末に転倒し左肘複雑骨折にて湘南鎌倉総合病院に入院。2020年1月末に湘南記念病院へ、リハビリ目的として転院。退院後、2020年3月中旬に当施設に入居となりました。

内 容

2020年3月入居当初は非常に依存傾向が強く、どんなことでも職員に依頼される状況でした。

介護課でミーティングを行い、なるべく自立支援を促しながらご本人の依存傾向を受け入れ、ユニチュードを取り入れた声かけを実施しました。

残存機能に着目して対応していたものの、2023年1月頃、骨折により身体的にも精神的にもさらに困難な状況となりました。手指の関節拘縮の悪化も見られ、自力での動作が困難になり、食事を口に運ぶことが次第に難しくなっていました。

食事摂取量が低下し、2023年1月には体重が42kgから同年10月に34kg台まで減少しましたが、ご本人は『プライドがある』と食事介助を拒否し続けました。

私たちはまず、栄養会議で栄養課、看護課と話し合い食形態を一口大から刻み食に変更したところ、摂取が良好になりました。

外出がお好きなことから、外出企画に参加していただき、介護スタッフと共に新江ノ島水族館に行くなどし、喜ばれる姿も見られました。

意欲がある点に着目し言語聴覚士などによる無理のないリハビリを続行しました。問題であった食事は、ご本人と話し合い、介入することに決定し、次第に食べる喜びを感じられたようで、食事時の笑顔が増えました。

さらに、2023年10月に慶応義塾大学の看護学生が研修に訪れた際には、ご本人の居室を担当することを快く受け入れてくださったことで、深い交流をすることになりました。お別れの際には看護学生から手作りの口腔体操の手順表をプレゼントされ、その際には嬉しくて仕方ないと、涙を流される場面もありました。

2024年6月現在体重は34kgから38kgまで回復し、レクリエーションにも少しずつ参加されるなど、体

力が低下した中でも精神的活力に満ちた生活を送られています。

今後も、ご本人の気持ちに寄り添いながら、チームアプローチを通じて、施設の理念である心地よい生活環境の提供を実現していきます。